



2015年5月

NPO 法人 みんなでお城をつくる会

江戸時代の小田原城の 天守模型は3体現存



▲東博模型

昨年度、小田原城天守模型の調査研究の報告書をまとめた故西和夫先生は、長崎の出島の建物や栃木の足利学校の復原に尽力された元文化審議会委員でした。

その報告書の中で東大模型、大久保模型、東博模型のうち東博模型が宝永の再建天守に最も忠実な模型であるという論文をまとめられました。

しかし残念ながら、昨年12月20日にこの論文の成果報告会で発表された2週間後に突然急逝されてしまいました。謹んで哀悼の意を表します。

現天守の耐震改修工事が 平成27年 7月より始まる。



▲摩利支天像

西先生の研究の成果を踏まえ、天守最上階に摩利支天像の祀られていた当時の空間(しつらえ)が木造にて再現されます。私たちはこの木造による復原をきっかけに天守木造化の道への

弾みがつくことを願っております。再現に使用される材料には、昨年秋に開催された「第30回全国削ろう会小田原大会」に「みんなでお城をつくる会」が出品した天守の森(辻村農林)の

樹齢200年の杉が使われることになっております。地元の木材を使って地元の大工さんによって建てられれば、私たちの願いである天守木造化の一つが実現することになります。

西和夫先生 追悼 恩師西先生の功績をたたえて



西先生は昭和42年に藤岡通夫先生のもと東工大大学院を修了されています。藤岡先生の当時のことを西先生はこう振り返っておられます。「先生はあまり細かなことは指示されなかったが、いつも研究者として大局を見失わぬように、そして何が大切なのかを自分で探し出すように、とご指導をいただいたと思う。」そして先生は、この小田原城の天守については小田原市から、歴史的な背景について調べる検討委員として、現在の鉄筋コンクリートの天守がどのような根拠で復原設計されたのか、当時どのような理念、哲学で設計されたのかを調べることになりました。

昨年11月9日「小田原城天守模型を探る」(みんなでお城をつくる会主催)講演会では、先生に小田原城天守模型等調査団代表として中間報告をしていただきました。そこで「この現在

の鉄筋コンクリートの建物は、昭和35年に完成した建物です。設計者は藤岡通夫先生。実は私の恩師です。私は藤岡通夫研究室の出で、私が先生の設計した建物を、その背景を今調べている。調べれば調べるほど今のあの天守はちょっと駄目だなということがわかってきたんですね。今困っております。」と話されております。

鉄筋コンクリートの建物となった歴史的な大きな背景は、城郭建築が第二次世界大戦後戦災により焼失したものや、明治初年までに消失したものの復元の機運が高まった時期に、山林が乱伐され枯渇し用材がなくなり、鉄筋コンクリートが近代化の象徴として持て囃された時代に合致したといえるでしょう。その時期の藤岡先生による復元天守は、和歌山城、熊本城、会津若松城、小田原城などがあります。

西先生は、難解な建築をわか

りやすく説明し、旺盛な好奇心で建築史のおもしろさを追いかける探求心を持ち、それを最期まで成し遂げられる研究者でした。小田原城の現存する天守模型3体から天守の歴史を紐解いて、新たな解釈で天守像を鮮明にされた功績は大きく、私たちはこの事実を多くの方々に広く伝えていかなければならないでしょう。

(高橋政則：藤岡先生、西先生両先生が恩師となる。NPO 伝統木構造の会理事)

■西和夫先生プロフィール

昭和13年生まれ。

平成27年1月3日没

神奈川大学名誉教授

工学博士

日本建築史専攻

日本建築学会賞(論文)受賞

足利学校

長崎出島

佐賀城本丸御殿の復原

昨年度の活動報告



▲おひさまマルシェトークショー

●歴史と文化財をめぐるツアー (全8回)

案内役：

田代 道彌 理事、山本 篤志

後援：小田原市文化政策課

●わいわい会議サロン (全4回)

ゲストを招いて少人数で談話会

●第30回全国削ろう会小田原大会

- ・実行委員会に参画
- ・天守の森 200年の杉出品
- ・小田原城天守模型調査の報告
講師：故 西和夫先生
- ・子供向け錦帯橋の組立

●小田原城天守木造化の可能性 検証組織「フィージビリティスタディ=FS」に関する要望書提出

小田原市文化政策課内に窓口が出来る

今後のイベント情報

●5/17 総会&トークセッション 小田原市民会館6階第7会議室

【スケジュール】

15:00～受付

15:30～総会

16:00～トークセッション

『天守木造化の可能性を考える』

【パネラー】

- ・高橋政則
(NPO 伝統木構の会理事)
- ・小笠原徳明
(OGA 建築スタジオ一級建築士事務)
- ・諏訪間順
(小田原市経済部観光課 課長)
- ・大島慎一
(小田原市文化部文化財課 課長)
- ・鈴木博晶
(みんなでお城をつくる会理事長)

●5/9&10 「みどりの感謝祭」 in 東京都立日比谷公園

江戸城を再建する会のブースに出店いたします。

●8月、12月(予定)「小田原城 なにになに?探検隊」

子供と楽しく学べるイベントを企画しております。

お楽しみに!

市民からの疑問の声

～現天守を耐震するのになんで木造化の議論をするの？～

耐震補強は恒久的な処置ではありません。東南海などの巨大地震が来た場合、中にいる人たちに重大な被害が起こらないことを想定していますが、全く被害

ゼロと言う訳には行きません。復旧工事が必要となれば必ず木造か鉄筋コンクリート（以下RC）の議論になるでしょう。その時に私たちは当然木造での

再建を望みます。なぜ木造なのか、それが歴史を未来に伝える最良のパフォーマンスだからです。

「お城をつくる会」をご友人に紹介しませんか？

ご友人に「小田原城が好きな方」「是非お城をつくる会をご紹介したい方」「ボランティアをしてくださる方」「募金箱を設置して下さる方」がいらっしゃいましたら、お名前、ふりがな、電話番号をご記入頂き、お城の会事務局までFAX(0465-46-8944)下さい。事務局からご友人へご連絡させていただきます。

個人賛助会員大募集!!!

年会費:3,000円からご入会いただけます。(1口1,000円。入会金はございません。)

※個人正会員は、入会金:20,000円、年会費:20,000円です。

紹介者(会員様)のお名前:

ご友人のお名前	ふりがな	電話番号

About Us

ご案内



特定非営利活動法人

「みんなでお城をつくる会」

〒250-0004 神奈川県小田原浜町1-1-46

<http://www.odawara-oshiro.com>

Tel/Fax: 0465-46-8944

Mail:info@odawara-oshiro.org